

紙面で防災学習 「過去へタイムスリップして、明日を学ぼう！」

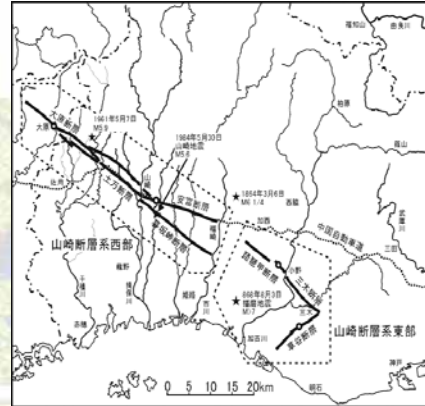
グリーンだより200号発行、お慶び申し上げます。



第1号発行から今日に至るまで毎月欠かさず発行してこられた広報委員様方に先人より受け継ぐ志は、現在のグリーンシティに育む素晴らしいコミュニティ力の源と言っても過言ではないかと思えます。これからもこの広報活動が引き継がれることを祈念いたします。

さて、今月は200号特別企画として、私たちが住む加古川では過去にどのような地震災害を受けたのでしょうか？ ちょっとタイムスリップしてみましょう！

兵庫県南部地震は記憶に新しく皆様のご存じの通りですが、さらにさかのぼり、現在の加古川を含む旧播磨国直下で発生した歴史上の大地震といえば、貞観10年(868)に発生した山崎断層地震があります。これ以外に死者や家屋の全半壊などの被害が出る本格的な災害地震は発生しなかったのかといえますと、文化15年(1818)に宍粟郡の安志谷付近(現姫路市安富町)で発生した地震があり、元治元年(1864)に多可郡の杉原谷付近で発生した地震があります。そしてもう一つ、応永19年(1421)に印南郡米田(現高砂市米田町)付近で発生したと伝えられる大地震があります。それぞれの地震の規模・震度・被害などについて考えてみることにします。



地震および地震災害に関するデータを掲載している国立天文台編『理科年表』のなかで貞観10年の播磨国大地震が次のように紹介されています。

発 生...西暦 868年 8月 3日(貞観 10年 7月 8日)

震央地点...北緯 34.8度 東経 134.8度

現在の高砂市阿弥陀町北山付近(グリーンシティ西側に見える播磨富士と呼ばれている高御位山直下)

地震規模...M7 に等しいが、またはそれ以上と記載されています。

山崎断層地震で歴史資料にはっきり現われてくるのは、貞観10年の大地震だけですが、昭和55年(1980)に安富断層の地層調査が行われ、さらにそれより約1000年前にも大地震が発生していたことが判明しています。

そうすると、最近の大地震の発生間隔は約1000年ということになり、現在すでにその年数を超過しているので、いつ大地震が発生してもおかしくない状態だともいわれていますが、この発生間隔にもかなりの偏差があり、他のさまざまな発生条件もからんできますので、次の大地震がいつ発生するかは誰にもわかりません。しかし、大地震の発生が先になればなるほど、地下の岩盤の歪みの状態が増大していくわけですから、次の大地震がより大型化することが予想され、先になったからといって喜んでばかりもいられません。

もうひとつ懸念される地震には、南海地震(東海地震・東南海地震)があります。



1099年 2月 22日 康和南海地震(南海地震) M 8.0~8.5

1361年 8月 3日 康安南海地震(南海地震) M 8.0~8.5

1498年 9月 20日 明応地震(東南海・東海地震) M 8.2~8.4

1605年 2月 3日 慶長地震(東海・南海・東南海連動型地震) M 7.9~8

1707年 10月 28日 宝永地震(東海・東南海・南海連動型地震) M 8.6

1854年 12月 24日 安政南海地震(安政の大地震) M 8.4

この南海地震も約100~150年周期で発生しています。

ところが現在、前回の地震から150年以上も経っています。もう今の瞬間に大地震が発生してもおかしくない状態です。

不安をおおるわけではありません。「備えあれば憂い無し!」もし、自分の大切な人を守りたいと思うのであれば、もし、自分自身の命が大切なのであれば、ぜひ、自宅の家具の固定は最低限の危機管理です。また寝室の照明器具は天井に直接取り付けするタイプにする、冷蔵庫の転倒防止等、できることから少しずつやっていきましょう!

加古川グリーンシティ防災会の活動は今までに発生した多くの地震の「教訓」を元に考え出されたものです。いつか「教訓」がなくても対応や対策ができることこそが本当の意味での「教訓」になるのかもしれませんが。私たち防災会の行っている活動は、専門的な技術がなければできないことではなく、ほんの少しだけ今の自分のライフスタイルの枠を広げることで十分活用できる方法ばかりなのです。「楽しく防災活動をやろう」をコンセプトに今後も活動していきますので、ぜひ皆様も「気軽な気持ち」でご参加ください。

<ラジオ放送のお知らせ>



防災インターネットラジオがマンションを飛び出し、4月からBAN-BANラジオで毎月1回30分枠で放送中です。86.9MHzにあわせよう! 「楽しく防災活動!」の取り組みを東播磨全域に向けて発信しています。

5月放送日: 5月8日【木】21時30分~ 再放送: 5月11日【日】15時30分~